

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、明けましておめでと
うございます。今年も
どうぞよろしくお願い致し
ます。

覚王山のかわら版は十四
年目、知立のかわら版も三
年目に入りました。長く続
けることができるのは、受
け取ってくださる皆さん、
配ってくださるボランティア
の皆さんのおかげです。
本当にありがとうございます。

毎年年末に開催している
「弘法さんを語る会」も十一
回を重ね、多くの皆さんに
ご参加いただいています。
会の冒頭、皆さんと一緒に
般若心経を唱えてから始め
ていますが、ある参加者の
方から「大塚さん、般若心
経の意味をかわら版で書い
てくださーい」とのご要望が
ありました。

今月号から始めてみたいと
思います。どうぞお付き合
いください。

そもそも般若心経は、玄
奘(三蔵法師)がインドか
ら持ち帰った六百巻に及ぶ
「大般若波羅蜜多経」の心
髓(真髓)をまとめたお経
と言われています。

弘仁九年(八一八年)、弘
法大師が嵯峨天皇に般若心
経の講義をしました。その
際、弘法大師は次のように
説明したと伝えられていま
す。

「般若心経という真言(し
んごん)は、とても不思議
な力を持っています。朝夕
にこれを読み、唱え、深く
考えて日々実践すれば、生
まれながら持っている煩惱
から解放され、その功德か
ら、安らかな心境になれま
す」。

煩惱は過ぎたる欲から生
まれます。煩惱から解放さ
れるということは、過ぎた
る欲から解放されるとい
うこと。皆がそうした心境に

至れば、住みやすく、平穩
で、問題の少ない社会がつ
くれそうですね。般若心経、
しっかり勉強したいと思
います。

ところで、般若心経の字
数は何文字でしょうか。本
文のみであれば二六六。そ
こから、一番最後の「般若
心経」の四文字を除くと二
六二。

本文に経題の「摩訶般若
波羅蜜多心経」という十文
字を含めると二七六。経題
の上に「仏説」の二文字を
加えると二七八。

いづれにしても、わずか
三百文字の短いお経の中
に、お釈迦様の教え、人間
関係や社会の問題を和らげ
る心のあり方、もち様につ
いての教えがたくさん詰ま
っています。心して学びた
いと思います。

かわら版、今年もご愛読
のほど、よろしくお願い致
します。合掌。

※



かわら版執筆者 大塚耕平

日泰寺の地元、田代小学校、城山中学校を卒業。旭丘高校、早稲田
大学をへて、日本銀行に18年間勤務。

2001年から参議院議員。元内閣府副大臣・厚生労働副大臣。地元
の歴史・文化遺産の継承と振興のために「弘法さんかわら版」を執筆
しています。今年で、足かけ14年目。

日銀時代に母校の大学院博士課程を修了(学術博士)。現在は、早
稲田大学と中央大学大学院の客員教授も務めています。

弘法さんかわら版

弘法大師の生涯と覚王山

第1号から第78号は、
2008年に大法輪閣から本
になって出版されました。

好評発売中

大法輪閣

(仏教書の老舗出版社)

営業部：電話 03-5466-1401

